

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	5-2201
研究課題名	化学物質の鳥類卵内投与による性分化異常評価手法の開発とテストガイドライン化に向けた提案
研究実施期間	2022 年度～2024 年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	川嶋 貴治

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

OECD TG206 のうちの生殖に係る重要な部分を、胚へのエストロゲン様あるいはアンドロゲン様物質のばく露試験という形で切り出し、様々なバイオマーカーとなりうる指標を明らかにし、有害作用の AOP 解析を実施している。鳥類の生殖細胞に関する基礎研究において、PGC（始原生殖細胞）の性差発現分子の発見や培養技術の開発など、発生工学の進展に貢献するものである。研究目標を十分に達している。開発された試験デザインは、OECD のテストガイドラインプロジェクトに採択され、今後の TG 化による行政活用が大いに期待できる。